

平成28年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 志津図書館管理運営事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	4. 図書館費	担当所属	志津図書館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独	通常	0	0	5,416		平成28年度	-
							平成29年度	-
							平成30年度	-
							平成31年度	-
						平成32年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	123	
本年度当初査定額	150	6,416

財源内訳	諸収入					その他	一般財源
本年度当初要求額	0					123	△123
本年度当初査定額	150					0	6,266

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 市内外の住民に、良好な状態の図書・視聴覚資料を無償で貸し出します。 また、施設内の設備の定期的な点検を行い、必要ならば修繕をして、快適に使用できる状態に保ちます。</p>	<p>(事業の目的) 施設内の設備と図書・視聴覚資料を適切に管理し、利用者に安全で快適な図書館サービスを提供します。</p>	<p>(事業の効果) 利用者に快適な環境での図書館サービスを行うことで、住民の教養と文化の向上に寄与します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 志津図書館の年間入館者数は約40万人と利用率の高い施設であり、蔵書冊数も多く、図書館の運営(図書等資料整理・管理等)に係る経費が、他の施設と比べて多くなることが考えられます。また、開館から20年以上が経つため、備品の老朽化により、修理や買い替えの必要が生じる可能性が高くなってきています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 平成27年11月に再開館した志津分館の経費について、平成28年度は年間経費となるため、新聞雑誌購読料・消耗品・電話料にかかる経費を増額要求しています。</p>	<p>(見積についての特記事項) 志津地区は市内で最も人口が多く、また、人口の多い他市町と隣接しているため、今後も図書類の需要が高い状態が続きます。予算の範囲内で、効率良く志津図書館と志津分館の運営をしていく必要があります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
09	63	70	△7
11	5,323	5,227	96
12	469	331	138
13	511	511	0
18	50	91	△41

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	20	05	04	01	50	06	コピー機使用料	123	150	150	0
差引一般財源								△123	6,266	△150	6,416